

講義名	キャリア基礎論			授業形態	
担当教員	小幡 祐可子	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生
				ナンバリング	

主 題 と 概 要
受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学ぶ。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を創り上げていくことを目的とする。

到達目標
この科目は以下の点を到達目標に設定する。 ・日本の労働市場を知ること、大学生の就職環境について説明することができるようになる。 ・業務や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の取り込みができるようになる。 ・社会が求める人材像や能力を知ることで将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その達成までのロードマップを策定し、充実した学生生活を過ごすことができるようになる。

提出課題
毎回の授業後に、リフレクションシート（ミニレポート）を提出する。 期末に課題レポートを提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
リフレクションシートを提出をした翌回の授業冒頭において、必要かつ可能な範囲でフィードバックを行う。

評価の基準
①平常点(リフレクションシート) (60%) 各回の授業後に、リフレクションシートを提出する。 表提出が5回以上で平常点はゼロ点になる。 ②基礎能力テスト(SPI) (10%) ③期末レポート (20%) ④受講態度 (10%) ※15回の授業のうち3分の1以上（5回以上）の欠席者については成績不可とする。 詳細は、添付している「授業評価（ループブック）」を参照すること。

履修にあたっての注意・助言他
この授業は社会に出ていくための練習の場でもあるため、社会生活を送るうえで必要なルールやマナーを守ること。 ・遅刻、欠席の場合は事前にメールで伝えること。 ・対面授業で行うグループワークには積極的に参加すること。 ・レポート等提出の期日は厳守すること。 当たり前のことを当たり前にできるように習慣化してください。

教科書
.使用しない。

参考図書

その他
プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介する。

授業計画
1 イントロダクション～キャリア基礎論について～ 2 大学生のキャリアデザイン 3 未来の動向 4 日本の雇用システム 5 働き方研究①～組織で働くとは？～ 6 働き方研究②～働くうえでの適り卒業とは？身近な社会人にインタビューをする～ 7 働き方研究③～多様な働き方～ 8 自己分析～価値観と社会の境点を描る 9 仕事価値①～企業とは何か～ 10 仕事理解②～業種・職種とは何か～ 11 社会で求められる人材 12 社会で求められる基礎能力①～SPIにチャレンジする～ 13 社会で求められる基礎能力②～SPIにチャレンジする～ 14 今後のアクションプランを計画する 15 まとめ～キャリア基礎論を通して～ 授業では、その日のテーマに沿ってグループワークを行う。 必要に応じて、プレゼンテーションを行う。

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	○ウ：ディスカッション、ディベート		○エ：グループワーク
	○オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
①授業に関連する本や新聞記事や雑誌を読んだり、ニュースをチェックしたりする習慣を日常的に付け、特にキャリア・就職・労働・雇用・ビジネスなどといったキーワードには注目するようにしておく（毎回2時間） ②授業のなかで紹介したり、示した参考図書や参考資料などを読んだり、目を通してしておく（毎回30分） ③授業で学んだことの復習や実習を行う（毎回30分） ④基礎能力試験（SPI適性検査）対策を行う（毎回1時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
当該科目は主眼と概要でもすでに記載しているが、多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていくことを主眼とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適性や適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行う」というキャリア科目のびとも合致していると考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
原則として、質問やアンケートはレスポンスで回答してもらうが、場合により、Microsf teamsを活用して課題の管理やオンライン上での双方向授業を可能にする。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり キャリアコンサルタントの国家資格を有し、企業研修、人材育成に携わる。 また、アパレル業、ブライダル業での実務経験がある他、フリーアナウンサーとして活動をしている。 これらの経験を生かして、大学の学びや経験がどのように社会で役に立つのか実例を交えて解説を行う。

備考
新型コロナウイルス感染症の状況によって、シラバスを修正することがあります。